

東小だより



大村市立東大村小学校
令和4年 4月13日
文責；校長 一丸正志

令和4年度が気持ち新たに始まりました!

4月6日、学校に元気な子どもたちの声が戻ってきました。大きな荷物を抱えて、ちょっぴり緊張気味な表情で登校した子どもたち。元気よく朝の挨拶を返してくれました。いつもの下駄箱の場所に靴をしまおうとして、改めて名前を確認して新たな学年の場所に靴をしまう子どもたちの仕草に、初々しさを感じました。

始業式では、2年生から6年生までが揃い、新学年への気持ちを新たにしていました。ちなみに、校長の話として、コロナ禍のため閉塞感に包まれる今日だからこそ「楽しさを見つけよう」と子どもたちに話しました。「自分自身の成長する楽しさ」「仲間がいる楽しさ」を、学校生活や学習・行事等、全ての教育活動を通して見出して欲しいと思っています。

新しい学年になった新しい教室では、新しい先生との出会いがありました。新しいものには、これから始まる楽しみや期待などの高揚感があります。私自身は、新しい教科書の匂いが何とも言えず好きでした。子どもたちも、新しい出会いを楽しみました。

【着任式の様子】



【新しい先生との出会い】



【新しい教科書との出会い】



← 新2年生

新3年生 →

1年生5人が入学しました。



4月8日には、新入生5人を迎える入学式がありました。本校は、極小規模校ならではの全児童と全職員、保護者が参列しての入学式となりました。在校生のお兄さんお姉さんからは、代表の挨拶と歌のプレゼントがありました。一人一人担任から名前を呼ばれると、大きな声で返事をすることができました。あどけない表情の1年生ですが、これからの1年間で大きく成長してくれるものと期待しています。



家族のような温かさがあります!

校内を巡視していると、ほのぼのとした温かい光景に出くわすことがあります。



2年生の教室では、後方のテーブルに集まり、仲良く読書をしている様子を見かけました。同級生6人で、互いに気にかけてながら和気藹々とした雰囲気伝わってきました。小さい学校だからこそ見られる光景です。

また、7日の中学校の入学式の日には、昨年度の卒業生が制服姿を見せに来てくれました。在校生の前で挨拶をしたり、入学式の感想を述べたりと、卒業してからも温かいつながりを感じさせる光景でした。こんな東小のよさをずっと継承したいものです。



会津藩「仕の掟」に学ぶ

仕の掟

- 一、年長者の言にことばを聞いてはなりません
- 二、年長者には御座敷をいざなうはなりません
- 三、食事をいざなうはなりません
- 四、本懐を存する為にはなりません
- 五、侍の言にことばを聞いてはなりません
- 六、外で婦人と交はってはなりません
- 七、外で婦人と交はってはなりません

ならぬことはならぬものです。

